愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	西尾 敦史	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

テーマはⅠにつづき「ライフデザイン研究」です。　IIでは、人生の中でのリスクへの対応も考え、「子ども・子育て」「失業」「高齢」を取り上げます。　国際比較などの調査結果、映画、小説、音楽、アニメ・漫画など題材を広く探しながら、視点として、自身や家族のより良い選択（自己決定）を行うために、社会や政府の支援、ロールモデル（お手本となる人物）の経験などをとおして、対話をしながら掘り下げていきましょう。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	総合演習（ゼミ）は、学生と教員が共同して研究テーマを設定し、研究活動を行う参加型の授業です。 ワークショップの方法を取り入れて行いますが、調べて発表（プレゼン）する、テーマについて異なる意見（異見）やアイディアを出し合う（ブレーンストーミング）活動を中心に進めます。 なお、二分の一を超えない範囲（7回以内）で、オンライン（リアルタイム）を取り入れることがあります。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	演習（ゼミ）のすすめ方・ガイダンス	演習（ゼミ）のすすめ方・ガイダンスを行い、学びの方法について打合せを行う	□
第2回	ライフデザインゲーム	ライフデザインゲームをとおして、メンバーのコミュニケーションを図り、ライフイベントについて意識化する	□
第3回	「子ども・子育て」に関するデータからテーマを見つける	「子ども・子育て」に関する統計データや情報を読み取ることから、よりよく住まうためのテーマを見つける	□
第4回	「子ども・子育て」に関する自身の生活のふりかえり	「子ども・子育て」に関する自身や周囲の人たちの生活をふりかえり、どのような特徴や性格があるのかについて意識化する	□
第5回	「子ども・子育て」に関する調べ学習、フィールドワーク	「子ども・子育て」に関して参考になる実践事例（グッドプラクティス）について調べ学習、フィールドワークを行う	□
第6回	「子ども・子育て」に関する課題についてのディスカッション	それまで学んだ「子ども・子育て」ことに関する課題についてテーマを設定し、よりよく「子ども」期を生き、「子育て」を行うためのディスカッションを行う	□
第7回	「失業」に関するデータからテーマを見つける	「失業」に関する統計データや情報を読み取ることから、よりよく働くためのテーマを見つける	□
第8回	「失業」に関する自身の生活のふりかえり	「失業」に関する自身や周囲の人たちの生活をふりかえり、どのような特徴や性格があるのかについて意識化する	□
第9回	「失業」に関する調べ学習、フィールドワーク	「失業」した時の生き方に関して参考になる実践事例（グッドプラクティス）について調べ学習、フィールドワークを行う	□
第10回	「失業」に関する課題についてのディスカッション	それまで学んだ「失業」ことに関する課題についてテーマを設定し、「失業」の時期をよりよく生きるためのディスカッションを行う	□
第11回	「高齢」に関するデータからテーマを見つける	「高齢」に関する統計データや情報を読み取ることから、よりよく余暇を楽しむためのテーマを見つける	□
第12回	「高齢」に関する自身の生活のふりかえり	「高齢」に関する自身や周囲の人たちの生活をふりかえり、どのような特徴や性格があるのかについて意識化する	□
第13回	「高齢」に関する調べ学習、フィールドワーク	より充実した「高齢」期を生きることに関して参考になる実践事例（グッドプラクティス）について調べ学習、フィールドワークを行う	□
第14回	「高齢」に関する課題についてのディスカッション	それまで学んだ「高齢」に関する課題についてテーマを設定し、よりよく「高齢」期を生きるためのディスカッションを行う	□

第15回	ライフデザインにおける「子ども・子育て」「失業」「高齢」の学びのまとめ	ライフデザインにおける「子ども・子育て」「失業」「高齢」の学びのふりかえりを行い、市民としての生活上の課題についてディスカッションする	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回のトピックについて、意識化させて日常生活の中から題材を見つけたり、調べ学習を行ったり、考えるための資料を探したりしましょう（予習復習各2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の演習のテーマに関する意見発表、ゼミでの共有・ふりかえりを踏まえて、コメントを行います。次回の演習に向けて、次のテーマに関連する視点やポイントを提示します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	ライフデザインに関する学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、ライフデザインに関する課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協働してライフデザインに関する問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

ライフデザインのトピックに関する自己ふりかえり、情報収集、調べ学習の報告作成、提出、ディスカッションなど

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	リンダ・グラットン（2016）「LIFE SHIFT（ライフ・シフト）100年時代の人生戦略」東洋経済新報社	978-4492534434
2	アーネリンド・クウィストとヤン・ウェステル（1997）「あなた自身の社会: スウェーデンの中学教科書」新評論	978-4794802910
3	明和政子（2012）「まねが育むヒトの心」岩波書店	978-4005007288
4	広井良典（1997）「ケア学～越境するケアへ」医学書院	978-4260330879
5	古市憲寿（2015）「保育園義務教育化」小学館	978-4093884303